I·O DATA

B-MANU200432-01

DVD±R/RW

DVRシリーズ セットアップガイド

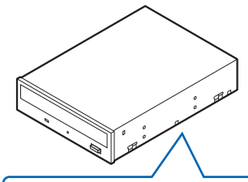
本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。
本製品のその他の基本操作、Q&Aなどについては、添付の「DVD ツールズコレクション」CD-ROM内にあるオンラインマニュアルをご覧ください。
（CDメニューから[オンラインマニュアルを読む]をクリックし、開きます。）

※オンラインマニュアル以外でも弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/support/）にてQ&Aを用意しております。本製品が正常に動作しない場合はそちらもご覧ください。
※図は実際とは多少異なる場合があります。

1 内容物を確認しよう

□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

□ ドライブ（1台）



ユーザー登録をすると素敵なプレゼントが当たります。ぜひ登録を！

シールサンプル

※本製品底面に貼り付けてあります。

シリアル番号（S/N）は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。（例：A0A0000000aa）
シリアル番号（S/N）は以下の際に必要となる場合があります。
ユーザー登録
http://www.iodata.jp/regist/
ソフトウェアのダウンロード
http://www.iodata.jp/lib/

ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

□ DVD ツールズコレクション（CD-ROM：1枚）
□ はじめにお読みください（1枚）
☑ DVRシリーズセットアップガイド（本書）
□ ハードウェア保証書（製品の箱に印刷されております。）
□ 取り付けネジ（4本）

2 スイッチを設定する

本製品を取り付ける前にドライブ背面のスイッチを設定する必要があります。

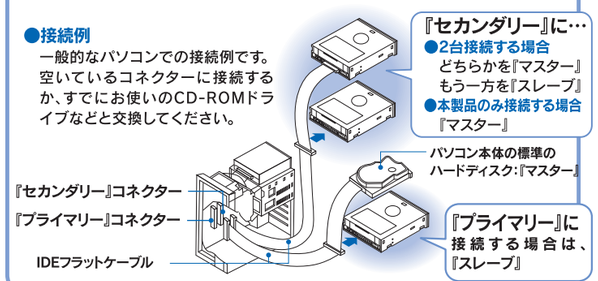
❶ 本製品はIDE機器として、パソコン本体に接続します。
下記「IDEの基礎知識」を参考に、本製品を取り付ける場所を決めます。

IDEの基礎知識

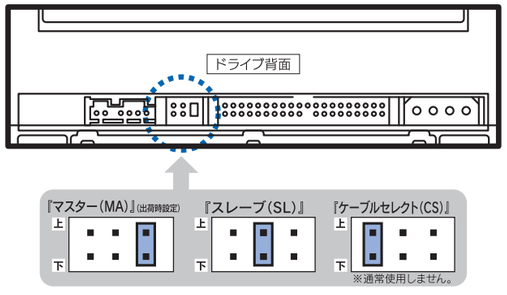
●IDEの仕様について
パソコン本体には、以下の2つのコネクター（プライマリー/セカンダリー）があります。

2つのコネクターそれぞれに、IDEフラットケーブルを使用して2台ずつ、計4台までのIDE機器を接続することができます。

●接続例
一般的なパソコンでの接続例です。空いているコネクターに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。



❷ ❶で決めた取り付け場所にあわせて、本製品背面のスイッチを『マスター』（出荷時設定）または『スレーブ』のどちらかに設定します。
ご使用の環境にあった設定をおこなってください。



3 取り付ける

パソコンに取り付けます。

❶ パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

❷ パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、5インチベイのカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

❸ 各ケーブルを接続します。

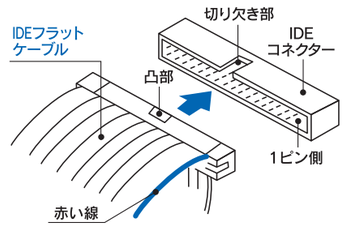
①IDEフラットケーブル
パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクターに接続します。
プライマリー（1系列目）またはセカンダリー（2系列目）を充分確認し、接続してください。

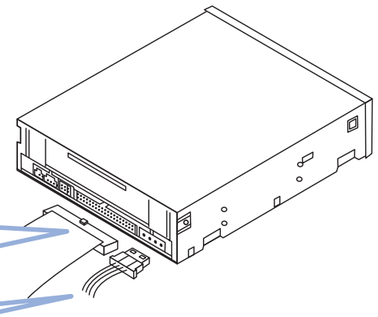
②電源ケーブル
パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクターに接続します。

ケーブルの向きにご注意ください
ケーブルを差し込むときは、ケーブルの向きにご注意ください。
逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクターを破損する恐れがあります。
コネクターを抜き差しする場合は、ピンが折れないようにコネクターをまっすぐにして行ってください。
ピンが折れると正常に動作しません。

IDEフラットケーブル

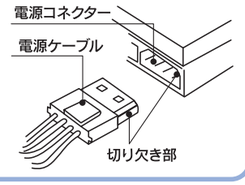
IDEフラットケーブルのコネクターの中央にある凸部が、IDEコネクターの切り欠き部と合うように挿入します。
（中央の凸部がない場合は、赤い線とコネクターの1ピンの向きを合わせてください。）





電源ケーブル

電源ケーブルのコネクターの切り欠き部と、電源コネクターの切り欠き部が合うように挿入します。



注意
本製品にメディアをいれたまま取り外したり移動したりしないでください。本製品やメディアを破損する可能性があります。

❹ 添付の取り付けネジで本製品をとめます。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

❺ パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

♪ 本製品で音楽CDを聞く方法 ♪

デジタル再生する ♪
本製品のオンラインマニュアル内[ミニ知識]をご覧ください。

アナログ再生する ♪
市販のオーディオケーブルで、本製品背面のオーディオコネクターとサウンドボードの「CD　IN」コネクターまたはパソコン本体のオーディオコネクターに接続してください。（オーディオケーブルはお使いのサウンドボードやパソコンのオーディオコネクターの形状に合ったものをご使用ください。）
すでにお使いのCD-ROMドライブと本製品を併用する場合、オーディオケーブルは、すでにお使いのCD-ROMドライブか本製品のどちらか一方の接続となります。

裏面へつづく

4 確認する

本製品が正常に使えるかを確認します。

パソコンを起動して、[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。
アイコンが追加されていれば、本製品を使うことができます。

（画面例：Windows XP）

データを保存したい場合は

アイコンの追加を確認
※ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。

Windows XP以外の場合
※下記のアイコンの追加を確認します。

こんな時には…

パソコンが起動しない場合

本紙表面[2 スイッチを設定する]を参照し、もう一度、本製品の「マスター」「スレーブ」設定をご確認ください。

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜いた後、再度本製品の各ケーブルを抜き差ししてください。）
- 添付のCD-ROMに収録されているQ&A内「02）本製品のアイコンがマイコンピュータに表示されない」をご参照ください。

5 DVD ツールズコレクションCD-ROMを使う

「DVD ツールズコレクション」CD-ROMには以下のソフトウェアが収録されています。用途に応じてインストールしてください。
※Windowsを管理者権限（Administrator権限）でログオンしてください。

Nero 6.6 OEM Suiteの使い方については…
各ソフトのヘルプをご覧ください。
ヘルプは各ソフト起動後に ? マークや、ヘルプ等のメニューをクリックすると起動できます。

*Nero*社製
Nero 6.6 OEM Suite

ソフトウェア名	用途		インストールボタン
Nero StartSmart2	ランチャー	インストールしたソフトを手軽に起動できるランチャーソフトです。	
Nero Express 6 ※1	CD/DVDライティングソフト	手軽に、データCD/DVDの作成ができます。	
Nero Cover Designer	カバー、ジャケット作成ソフト	オリジナルのカバーや、CD/DVDのジャケットが作成できます。	
Nero Toolkit(Drive Speed, CD-DVD Speed,Info Tool)	ドライブユーティリティーソフト	DVDドライブの詳細な情報の確認や、速度の設定などが行えます。	
Nero Vision Express 3 SE ※2	ビデオCD作成ソフト	オリジナルのビデオCDを作成できます。	
Nero PhotoSnap SE	画像編集ソフト	オプションや効果を使って画像を調整できます。（PhotoSnapViewerも同時にインストールされます。）	
Nero ShowTime 2 ※3	動画再生ソフト	動画ファイルを再生できます。	
Nero MediaHome	メディアファイル共有ツール	動画や音楽を離れたパソコンでもネットワーク経由で楽しむことができます。	
Nero Media Player	オーディオ再生/録音ソフト	音楽ファイルを再生できます。	
InCD 4 ※1、※4	パケットライティングソフト	DVD±RWやCD－RWにドラッグ&ドロップ操作でデータを書き込むことができます。	InCD 4
InCD Reader	UDFリーダー	InCDをインストールしていないパソコンで、InCDで書き込んだメディアを読み込む場合にインストールします。	InCD Reader
Content+Templates	サンプルファイル	Nero Vision Express用の背景画像やテンプレートが収録されています。	Content + Templates

[INSTALL SUITE]ボタンをクリックすると、これら9つのソフトを一度にインストールすることができます。

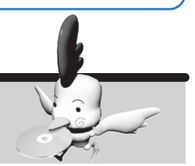
※1 他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトウェアをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。
※2 DVDビデオの作成（オーサリング）およびSVCDの作成はできません。（下記[参考：DVDオーサリングソフト優待販売について]をご覧ください。）
※3 DVDビデオ、ビデオCDの再生はできません。（下記[参考：DVDオーサリングソフト優待販売について]をご覧ください。）
※4 DVD±RおよびCD-Rメディアには対応しておりません。

*I-O DATA*製
その他のソフト

ソフトウェア名	用途	
AdobeReader	PDF文書ファイル閲覧ソフト	各ソフトウェアに付属しているPDF形式の文書ファイルを読む際に使用します。
見張っトレイ	トレイコントロールユーティリティ	パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。 使用方法については見張っトレイのオンラインマニュアルをご覧ください。（インストール後、[スタート]メニューの[I-O DATA]に登録されます。）
オンラインマニュアル	本製品のオンラインマニュアル	本製品の「基本操作」や「困ったときには」等について説明しています。インストールせずにCDメニューから[オンラインマニュアルを読む]をクリックし、起動することもできます。

参考 DVDオーサリングソフト優待販売について

本製品にはDVDオーサリングおよびDVDビデオ再生ソフトウェアは添付しておりません。ご希望の場合は、別途優待販売などをご利用の上、お買い求めください。優待販売については、別紙「はじめにお読みください」の【DVDオーサリングソフト優待販売について】をご覧ください。



ソフトウェアをインストールするには・・・

① 添付のCD-ROMを本製品に挿入します。
② メニューが表示されたら[インストールをする]をクリックします。
③ インストールしたいソフトをクリックします。

Nero 6.6 OEM Suiteをクリックすると…
右のインストールメニューが表示されます。
左表を参照し、インストールしたいソフトのインストールボタンをクリックしてください。

④ 表示に従ってインストールを進めます。

シリアル入力画面が表示された場合は…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

ファイルの種類の選択画面が表示された場合は…
ファイルの関連付けを変更したくない場合は、右の画面が表示された際に すべて選択解除 をクリックし、チェックを全て外してインストールしてください。

⑤ インストールが完了します。
（再起動が必要な場合があります。）

Nero 6.6 OEM Suiteを起動するには・・・

Nero StartSmart2を利用すると、目的にあったソフトが自動的に選択され、起動することができます。
（[スタート]メニューの[Nero]から起動することもできます。）

①デスクトップ上の[Nero StartSmart]ショートカットアイコンをダブルクリックします。

②画面上のアイコンでカテゴリを選択します。画面中央にタスクリストが表示されますので、目的のタスクをクリックします。
⇒目的にあったソフトが自動的に選択され、起動します。

Nero 6.6 OEM Suiteを使用する際のご注意

- パソコンの省電力機能を無効（オフ）にしてください。無効（オフ）にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。なお、省電力機能の設定方法についてはパソコンの取扱説明書もしくはパソコンメーカーにお問い合わせください。
- マルチセッション・マルチボーダー（セッション単位でデータを追記することです。）記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「Nero Express」の「拡張」→「ディスク情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される“使用領域”では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- 2層DVD+Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- 一度でも書き込みに失敗したDVD+R/-R/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したDVD+RW/-RW/CD-RWメディアは「Nero Express」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
- いったん「Nero Express」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「Nero Express」と本製品を使用してください。また、いったん「InCD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「InCD」と本製品を使用してください。
- 一度「InCD」でフォーマットしたDVD±RW、CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、いったん完全消去してから、「InCD」で再フォーマットしてください。
- 一度「Nero 6.6 OEM Suite」で書き込みを行ったDVD±RW、CD-Rメディアを他のソフトウェアにてご利用になる場合は、先に「Nero 6.6 OEM Suite」で完全消去をおこなってからご利用ください。
- ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- 音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。
- Windows 2000でお使いの場合には、ドライブのデジタルCD再生を無効にしてください。
- 本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトメーカーにお問い合わせください。
- 本製品のリージョンコードは、出荷時、「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証をいたしかねます。

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用　大豆インキを使用しています

Copyright © 2005 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.